

## Ⅶ. 図書館

### 1 図書館サービスの方針

図書館は、利用される方のための身近な生涯学習の場となるよう、常に広い分

野の最新情報を収集し提供する。

図書館のホームページや町広報紙などから、資料や図書館イベントなどの情報をはじめとする多様な情報を提供し、図書館の情報化を図る。

また、読書に親しむ環境を整え、多様な内容の講座を開催するなど多くの方に利用していただける図書館を目指す。

### 2 平成28年度の実績

#### (1) 図書館資料整備及びサービス事業

- ・開館日数 278日（開館1日あたりの入館者数539人）
- ・図書資料購入受入数 4,306冊（年度末図書資料数 145,243冊）
- ・視聴覚資料購入受入数 151点（年度末視聴覚資料数 3,383点）
- ・登録者数 1,173人（年度末延登録者数 24,595人）
- ・貸出人数 50,595人
- ・貸出点数 249,745点
- ・予約冊数 4,206冊

（内、窓口での予約 759冊 館内の利用者検索機での予約 1,336冊  
インターネットでの予約 2,111冊）

- ・インターネット検索件数 694,248件

#### 〔点検・評価〕

多くのかたに、最新の情報を提供するために、図書や視聴覚資料を計画的に収集し、古い資料については内容を検討したうえで新しい資料と入れ替えを行った。また、障害者差別解消法の施行に伴い、障害を持つ方にも利用しやすい資料を積極的に収集し提供できるように、バリアフリーコーナーを設置したことで図書館資料を有意義に利用していただくことができた。

インターネットを利用したサービスについては、町広報やホームページの情報量を増やし、多くのかたに図書館の情報を提供することができた。資料検索や予約だけでなく各種行事などについてもPRすることができた。また、館内のインターネット検索用パソコンで使用できるオンラインデータベースも引き続き好評を得ている。

今後も、資料の充実を図り、多様な方法により情報を提供し、より多くのかたに図書館を活用していただけるよう努めていく。

(2) 図書館行事開催事業

行事名	開催日または回数	参加者数	内容
おはなしのじかん	46回	計433人	幼児・児童が読書への意欲と興味を持てるよう、ボランティアによる絵本や紙芝居等の読み聞かせ会を開催した。
人形劇	平成28年 5月29日 平成28年 11月3日	53人 36人	幼児・児童を対象に、人形劇をアメニティホールで開催した。
図書館講座 (わらべうた講座)	平成28年 10月27日 平成28年 10月30日	36人 12人	昔から受け継がれているわらべうたに親しむことにより、親子がふれあい、豊かな心を育てるために開催した。
読み聞かせボランティア養成講座	平成28年 10月23日 平成28年 11月20日 平成28年 11月27日	(乳幼児と親) 乳幼児12人、親11人(9組) (初心者向け) 13人 (経験者向け) 17人	子どもたちに本の読み聞かせをすることで、読書の楽しさを知ってもらい読み手を育成するために開催した。
映画会	毎月第3土曜日12回 こども映画会3回	計336人	大人向けと子ども向けに分けて、ビデオやDVDの上映を、アメニティホールで実施した。
学習室の利用	132日	計3,430人	2階ミーティングルームとアメニティホールを学習室として利用した。
視聴覚ブースの利用	278日	計2,576回	ブースを利用し、図書館所蔵の視聴覚資料を視聴した。

ギャラリーの利用	6回	—	学校教育事業及び生涯学習事業等の成果発表の場としてギャラリーを利用した。
本のリユースフェア	平成29年 1月28日 ～1月29日	来場者数 198人 受取者数 86人 受取冊数 968冊	一般家庭で不要になった本を収集し、必要なかたに無償で配布した。

(3) 各団体の図書館利用行事

行事名	開催日または回数	参加者数	内容
小学校の図書館見学	5回	計361人	町内の小学生が図書館の利用について学習した。
中学校の体験学習	平成28年 5月12日～13日 (蟹江中学校) 平成28年 11月8日～10日 (蟹江北中学校)	計6人	町内の中学生が、図書館の仕事を体験し、図書館の仕事についてや、社会の中で働くことについて学んだ。
高等学校初任者研修受入(愛知県立半田高等学校教諭)	平成28年 7月28日～29日	1人	図書館の業務全般を体験した。
子どもの本の会	9回	計55人	子どもの本について話し合う絵本の会「あいうえお」が、図書館和室で本についての意見交換を行った。
学校図書主任者会	平成29年 2月22日	計8人	町内小中学校と連携をとり、図書の活用方法や選書について話し合い、図書館の有意義な活用方法について意見交換した。

冬の野鳥観察会	平成29年 1月14日	計17人	歴史民俗資料館が、かにえ地域学講座「冬の野鳥観察会」を、アメニティホールで開催した。
---------	----------------	------	--

〔点検・評価〕

子ども達が本に親しめるように読み聞かせを行う、ボランティアによる「おはなしのじかん」は、毎月継続的に開催しており、多くの親子が参加された。

「わらべうた講座」は、昔から受け継がれているわらべうたに親しむことにより親子がふれあい、家庭でわらべうたを楽しむきっかけを作ることができた。

平成26年度から開催し好評であった人形劇は、平成28年度も引き続き開催したところ、多くのかたが来館され、親子で楽しい時間を過ごすことができた。

映画会は、毎月第3土曜日に開催している定例映画会に加え、こども映画会を3回開催したことにより、親子で参加するかたが多く見られた。今後もより良い内容の映画を上映し、多くのかたに楽しんでいただけるよう引き続き開催していく。

平成28年度から開催することになった読み聞かせボランティア養成講座については、各回の内容を変えて3回開催したことにより、参加されたかたがたに子どもたちに本の読み聞かせをすることの大切さや、読書の楽しさを知ってもらうことができた。今後は読み聞かせボランティアとして活躍してもらうことを期待している。

学習室は、夏休み・土曜日・日曜日に、主に多くの学生が利用したが、52席ある席が満席になる日が多くあり、施設が有効に活用された。

家庭で不要になった本を図書館で収集し、必要なかたに無償で配布する「本のリユースフェア」は、5年目の開催となったが、毎年の開催を楽しみにされているかたも多く、今後も継続していきたい。

また、町内小学校児童の図書館見学や、町内の中学校生徒の職場体験は、子どもが図書館に興味を持つ良い機会となり、家族にも図書館を知ってもらうきっかけとなったようだ。

高等学校に勤務している教諭を初任者研修として受入れを行ったが、図書館業務を理解していただき、学校教育の現場で活かしていただくことを期待している。

歴史民俗資料館が、かにえ地域学講座「冬の野鳥観察会」の開催のためにアメニティホールを利用したことで、施設が有意義に利用された。

今後も、読み聞かせを充実させることを始めとし、図書館講座を開催することやさまざまな行事を開催していくことにより、図書館事業を拡充させ、今後も多くのかたに来館いただけるよう努めていく。